

日独 SATOYAMA 研究フォーラム

<主催：福井県>

生物多様性の保全と人間の豊かな暮らしの実現に向け「SATOYAMA国際会議（IPSI-4）」が、昨年9月に福井県で開催されました。

今回は、日本と同様に、SATOYAMAの文化的景観の長い歴史を有し、生物多様性の保全や生態系サービス（自然からの恵み）の評価、そして持続的な活用を進めるドイツの研究者をお招きし、日本の研究者とともに、2日間にわたり自然環境の保全・再生・活用について、研究成果を発表し、議論を行います。

日本とドイツの里地・里山の生物多様性・生態系サービス研究

ラムサール条約湿地となっている三方五湖などを事例に、日本とドイツの里地・里山の生物多様性と生態系サービス研究の最前線について、一般向けに研究発表を行います。

※講演等はすべて日本語で行います。

日時：平成26年8月30日（土）13:30～16:30

場所：福井県立三方青年の家（若狭町鳥浜122-27-1）

■プログラム

- ・「自然環境保全再生分科会の活動と里地・里山の生物多様性生態系サービス：生態系インフラストラクチャーに焦点をあてて」
鷲谷 いづみ（東京大学）
- ・「ヨーロッパの生態系インフラストラクチャー」
一ノ瀬友博（慶應義塾大学）
- ・「ドイツのSATOYAMAの生物多様性・生態系サービス研究」
シュテファン・ホーテス（Stefan Hotes）（マールブルク大学）
- ・「三方五湖の生物多様性・生態系サービスと自然再生」
吉田丈人（東京大学）
- ・意見交換会（里山里海湖研究所研究員の抱負を含む） コーディネーター：鷲谷いづみ



（福井県：三方五湖）

Perception and valuation of satoyama ecosystems -approaches from natural sciences, economics, and the arts （里山生態系の認識と評価－自然科学、経済学、人文科学からのアプローチ）

自然科学、農業経済学、文化人類学、地域コミュニティ論、アート・メディアなど多様な分野において、里山里山里海湖をテーマとして、研究者を対象に研究発表を行い議論します。

※講演等はすべて英語で行います。

日時：平成26年8月31日（日）13:30～18:00

場所：福井県国際交流会館（福井市宝永3-1-1） プログラム等の詳細は別紙チラシをご覧ください

【申し込み・問い合わせ】

- 申し込みは、用紙に、氏名、住所、参加希望日を記入の上、FAXまたは、同様の内容をE-mail等で下記までお送りください。 ※参加日に○を記入

氏名	住所または所属	8月30日 （土）	8月31日 （日）

福井県安全環境部自然環境課・福井県里山里海湖（さとやまさとうみ）研究所
TEL:0776-20-0306 FAX:0776-20-0635 E-mail:shizen@pref.fukui.lg.jp